



2024年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年5月9日

上場会社名 株式会社クラダシ 上場取引所 東
コード番号 5884 URL <https://corp.kuradashi.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関藤 竜也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CF0コ (氏名) 高杉 慧 (TEL) 03-6456-2296(代表)
一ポレート本部長
四半期報告書提出予定日 2024年5月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第3四半期の業績 (2023年7月1日~2024年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	2,127	△4.4	24	—	26	—	18	—
2023年6月期第3四半期	2,224	—	△134	—	△126	—	△126	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年6月期第3四半期	1.69		1.63					
2023年6月期第3四半期	△13.18		—					

(注) 1. 当社は、2022年6月期第3四半期において四半期財務諸表を作成していないため、2023年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 2023年6月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、また、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第3四半期	1,561	1,046	66.9
2023年6月期	1,342	1,024	76.3

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 1,044百万円 2023年6月期 1,024百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年6月期	—	0.00	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の業績予想 (2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,921	0.4	24	—	26	—	16	—	1.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年6月期3Q	10,796,328株	2023年6月期	10,763,358株
2024年6月期3Q	一株	2023年6月期	一株
2024年6月期3Q	10,767,194株	2023年6月期3Q	9,613,358株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症にかかる制限が緩和されたことにより、経済活動の正常化と回復の兆しが見られはじめました。一方で、不安定な国際情勢、資源価格の高騰、為替相場の大幅な変動による影響、食品の一斉値上げの影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、更なるユーザー体験の向上を目指したシステム及びアプリへの開発投資や、業容拡大に耐えうる強固な事業基盤の構築・新規事業への拡大のための積極的な人材登用、また、SNSを利用した広告宣伝活動への投資を継続的に行っております。また、当社のソーシャルグッドなビジネスモデルに共感するエシカル志向のユーザーへの認知度・利用率を高めるため、地方自治体との提携・マスメディア向けのイベント等の広報活動、会員のアクティブ率向上施策として、会員限定クーポンの発行、メールマガジン・SNS等を利用した販促活動を行っております。その結果、当第3四半期会計期間末の累計会員数(※1)は、前事業年度末の477,552名から538,654名に増加し、当社に商品を納品する累計パートナー企業数(※2)は、前事業年度末の1,428社から1,724社に増加しております。

当四半期累計期間における事業環境は、第1四半期における食品値上げによる外部環境の悪化の影響が作用したものの、第2四半期以降、市況の回復傾向が見受けられましたが、依然として市況は回復傾向の途上にあるものと考えております。

また、コストコントロールや収益の複線化による限界利益率(※4)の向上や広告宣伝費の効率的な投下により、取引量の拡大に備えた強固な事業基盤の構築を進めております。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は2,127,587千円(前年同期比4.4%減)、営業利益は24,201千円(前年同期は営業損失134,048千円)、経常利益は26,536千円(前年同期は経常損失126,057千円)、四半期純利益は18,182千円(前年同期は四半期純損失126,682千円)となりました。

なお、当社は「Kuradashi」運営事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(※1) 四半期会計期間の末日における会員登録者数

(※2) 四半期会計期間の末日における取引実績のあるパートナー企業数

(※3) 月間UU(UniqueUserの購入ID数)の四半期(3ヶ月)の平均数

(※4) 限界利益(売上高から売上原価及び配送料等の変動費を控除した金額)を売上高で除して算出

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は1,561,819千円となり、前事業年度末と比べ219,103千円増加となりました。

流動資産は、169,690千円増加し、1,401,041千円となりました。主たる要因は、商品及び製品が102,310千円増加、未収入金が48,503千円増加、売掛金が14,235千円増加したことによるものであります。

固定資産は、49,412千円増加し、160,777千円となりました。主たる要因は、無形固定資産が54,539千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は515,691千円となり、前事業年度末と比べ197,280千円増加となりました。

流動負債は、133,113千円増加し、413,407千円となりました。主たる要因は、買掛金が117,761千円増加、1年以内返済予定の長期借入金が13,827千円増加、未払金が4,640千円増加したことによるものであります。

固定負債は、長期借入金が64,167千円増加し、102,284千円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は1,046,127千円となり、前事業年度末と比べ21,822千円増加となりました。主たる要因は、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が18,182千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、前回予想の修正をいたしました。

詳細につきましては、本日(2024年5月9日)に公表しました「通期業績予想の修正並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,048,856	1,052,248
売掛金	37,071	51,306
商品及び製品	115,458	217,768
原材料及び貯蔵品	1,842	1,037
前払費用	14,254	16,226
未収入金	13,868	62,371
その他	-	82
流動資産合計	1,231,351	1,401,041
固定資産		
有形固定資産	14,543	11,083
無形固定資産	72,951	127,491
投資その他の資産	23,869	22,202
固定資産合計	111,364	160,777
資産合計	1,342,715	1,561,819
負債の部		
流動負債		
買掛金	87,193	204,954
1年内返済予定の長期借入金	25,808	39,635
未払金	26,405	31,046
未払費用	102,972	101,752
未払法人税等	12,357	12,285
契約負債	7,037	4,193
預り金	10,900	11,240
その他	7,618	8,299
流動負債合計	280,293	413,407
固定負債		
長期借入金	38,117	102,284
固定負債合計	38,117	102,284
負債合計	318,410	515,691
純資産の部		
株主資本		
資本金	310,080	311,200
資本剰余金	915,969	917,090
利益剰余金	△201,744	△183,561
株主資本合計	1,024,305	1,044,729
新株予約権	-	1,398
純資産合計	1,024,305	1,046,127
負債純資産合計	1,342,715	1,561,819

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	2,224,611	2,127,587
売上原価	1,229,667	1,110,760
売上総利益	994,944	1,016,827
販売費及び一般管理費	1,128,992	992,626
営業利益又は営業損失(△)	△134,048	24,201
営業外収益		
受取利息	-	0
補助金収入	5,800	-
寄付金収入	-	1,464
国庫補助金受贈益	-	206
その他	3,553	1,109
営業外収益合計	9,353	2,779
営業外費用		
支払利息	264	238
チャージバック損失	1,055	-
固定資産圧縮損	-	206
その他	42	-
営業外費用合計	1,362	444
経常利益又は経常損失(△)	△126,057	26,536
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△126,057	26,536
法人税、住民税及び事業税	624	8,354
法人税等合計	624	8,354
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△126,682	18,182

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、「Kuradashi」運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。